

期末テスト 迫る！

先週の金曜日には技能教科テストを終え、今週の木・金曜日は3学期末テストを迎える。今まさに受験勉強に邁進（まいしん）してい

る3年生に、1・年生へのアドバイスをお願いした。まずは、3年3組の市川友都くんは、「自分はあまり勉強は得意ではない方だが、今年になって受験勉強をしなければという自覚が出てきた。ただ、勉強をしなければいけない範囲は3年生だけではないので、3年生になってからでは遅いことに今さらながら気づいた。今からでもいいので、しっかり勉強をしておくべきだ。」と話してくれた。3年4組の有路理杏さんは、『目標を持って、しっかり勉強しておかないと絶対に後悔します。私は、「あの時ちゃんと勉強しておけば」「家庭学習をしっかりやっておけば」など、後悔ばかりです。目標があるのに自分の希望する高校に入れないなんて、悲しいじゃないですか。1・2年生でしっかり勉強しておかないと、3年生につながりません。1・2年の基礎を大事にしてほしい。』と、1・2年生の時を思い出し、涙を交えて語ってくれた。同じく3年4組の佐藤煌我くんは、「3年生になると、やるべきことが増えます。やることがありすぎて、頭が爆発しそうなくらいです。だからこそ、やるべきことはその時にやるという習慣を身に付けておくことが大事です。テストが近づいたら、ワークにしっかり取り組むことです。ワークは、基礎・基本です。」と、毎日の積み重ねの大切さを話してくれた。テスト勉強に出遅れている君、今日から頑張るぞ！



一昨日の地震、10年前の東日本大震災を思い出した人も多かったのではないだろうか。幸い、東根市立神町中学校では大きな被害はなく、胸をなでおろしているところである。ただ、夢色通信社の調査によると、いくつか細かな被害が報告されているようである。地震直後には、校舎内にあるほとんど全部の防火扉が開いていた状態になっていたという。また、職員室の時計は11時07分で止まったままの状態であった。特に被害が多かったのは3階にあった3年生の教室（特に3年3組・右の写真）で、教室後方にあるロッカーからノートやファイルなどが崩れ落ちる被害が9件あった。3階で揺れがひどかったこと、3年生で勉強の量が多くファイルが重くなり崩れやすかったのではないかと、夢色通信社では見ている。また、心配されていたプレハブ校舎からは6件のファイル崩壊が報告され、本校舎に比べて被害が多かったこともわかった。地震の影響で開催が危ぶまれた、神中卓球部主催の西田杯争奪卓球大会は無事開催されたという。ブロック優勝を果たした卓球部の今田匠哉くん（2年）は、「寝ようとしたら地震が来てびっくりしました。大会は自信はありませんでしたが、大きな声を出して集中して頑張りました。結果を出せてよかったです。」と話していた。

